

## イラストレーションコース よくあるご質問

### ◇ 入学について

Q. 定員を超えた場合はどうなりますか？

例年定員超過を理由に入学をお断りすることはこれまでございませんが、出願日基準で先着順となる可能性もございます。入学をお考えの場合はお早めにご出願ください。

Q. イラストレーション分野の経験がないのですが、やっていけるでしょうか？

未経験の方を前提としたカリキュラムですので、心配いりません。イラストレーションが好きで、学びたいという気持ちが何よりも大切です。

Q. 入学者数が多くなった場合、添削など受け入れ体制は大丈夫でしょうか。

学生数に応じて、課題添削や学生の受入体制を整備いたしますのでご安心ください。

Q. 春入学は準備が間に合いそうにありません。秋入学はありますか？

イラストレーションコースは春入学のみです。科目等履修制度もございません。

Q. すでに在学しておりコース変更したい場合は、一度退学して再度入学ということになるのでしょうか？

本学通信教育部在学学生で2021年度にご入学をお考えの場合は、退学後にご出願いただくこととなります。なお、本学を退学された場合、在学中に取得された単位は引き継ぐことはできません。

### ◇ 学習について

Q. 本当に一度も大学に通学する必要がないのですか？

必要ありません。入学から卒業まで、すべてオンラインで学習していただきます。質問や学習に関わる相談もメールなどを通じてオンライン上で可能です。

Q. Zoom 等の Web 会議サービスを活用した双方向型の授業はありますか？

基本はオンデマンド教材の授業となります。ただし、年に数回の双方向型の特別講義を計画しております（現段階では未定）

Q. 添削を行うイラストレーターを指名することは可能ですか？

添削担当者を指名することはできません。各科目内容に合わせて担当教員がきめ細やかな添削指導を行います。

Q. アニメーターを目指しているのですが、イラストレーションコースでも将来アニメーターの道に進むことはできますか？

本コースでは、イラストレーションの基礎技術と知識を身につけ、プロのイラストレーターへの道を後押しします。教育課程において、アニメーションに関する科目も設けておりますが、アニメーター育成を目的としたカリキュラムではございません。

Q. テキストの購入費はどのくらいかかりますか？

コース専門教育科目は動画教材を中心として学習するため、指定テキストは現在のところほとんど予定しておりません。総合教育科目（一般教養）については有料（1冊数百円から2,000円程度）となります。

Q. オンデマンド授業はスマートフォンでの音声のみの再生や、バックグラウンド再生は対応していますか？

現段階ではバックグラウンド再生には対応しておりません。オンデマンド授業をご覧いただくにはインターネット接続環境が必要です。

Q. 大学を卒業したら、教材は見れなくなってしまうのでしょうか？

学習用 Web サイト「airU」内で提供する教材は卒業後は見ていただくことができません。一部、単位修得後に見られなくなる教材（動画等）もございます。

Q. 1年間で受けられる講義の数に上限はありますか？

1年間に履修できる単位数の上限を設け単位の実質化をはかるため、CAP制を導入しています。学習の質を保つためにも年間で最大50単位以内の履修となるよう計画を立てていただいています。

Q. 課題として作成した作品は、自身のキャリアに活用するためポートフォリオに組み込んだり、SNS で発表する等、一般公開しても良いのでしょうか。

制作された作品の著作権は制作者にあります。公開する場合には、誰からの許可も必要ありません。ただし、添削指導を受けた作品は異なりますので、添削指導を受けた作品を公開する場合は、添削した教員の許可を必ずとってください。入学後にその都度、ご相談ください。

Q. 課題を添削、返却後に再度添削していただくことは可能でしょうか。

添削する作品は課題につき1つとなります。不合格の場合は再提出・再添削となりますが、合格した科目は再提出できません。

Q. 鉛筆、絵具のような画材を使ってスケッチブックやキャンバス等に描く授業はありますか？

課題の提出は原則デジタルでの提出となりますが、一部科目でアナログの画材を利用して提出可能な科目もございます。詳しくは入学後にご覧いただけるシラバス（授業計画）をご確認ください。

Q. 他の学生の作品を見る機会がありますか？

科目によっては動画での作品講評を予定しており、いくつか作品をピックアップする形で参考作品を見る機会を設ける予定です。

Q. Live2D や 3D 系のソフトを学習することはできますか？

現段階では Live2D や 3D 系のソフトを活用した授業は予定しておりません。

Q. 入学後必要となるパソコンのスペックを教えてください

入学後のガイダンスでパソコン、アプリケーションソフトの購入やインストール等に関する説明を行う予定です。必ずしも入学前に揃えておく必要はありませんが、必要となるパソコンのスペックは「募集要項 2021」P26 をご参照ください。

[https://www.kyoto-art.ac.jp/t/admission/howto/pdf/application\\_guide\\_2021.pdf](https://www.kyoto-art.ac.jp/t/admission/howto/pdf/application_guide_2021.pdf)

## ◇ 学生生活について

Q. オンライン課程の場合、友人やコミュニティづくりをどうやってしていますか？

新設のイラストレーションコースでも、学生同士の交流の機会を検討しております。現段階では、新入生ガイダンスやコース毎の学習会、年に数回の特別講義等を予定しています。毎年4月に新入生に向けて教員や事務局職員が学習方法について説明を行う場を設けておりますので、そこでご友人をつくられる方も多いようです。その他、インターネットを活用した交流も検討しております。

Q. 学習会とは何でしょうか？

コースの学生同士でグループを作り、交流する「学習会」が各地域にあります。イラストレーションコースは2021年新設のため現段階では未定です。

Q. 就職のサポートはありますか？

通学部生と同様、原則としてはじめて就職する方を対象に、通学部のキャリアデザインセンター（京都・瓜生山キャンパス内）で対応しています（要事前申込）求人票などの閲覧も可能です。※再就職・転職支援は対応していません。

Q. 通信教育部の学生も、図書館で書籍等を借りることはできますか？

京都・瓜生山キャンパスの図書館や、外苑キャンパスのライブラリーコーナーをご利用いただけます。詳しくは芸術文化情報センターの「利用案内」をご覧ください。

<https://acic.kyoto-art.ac.jp/>

Q. 学割は使えますか？

学生証の掲示等により美術館・映画館・携帯電話等の料金が学割対象となる場合があります。その都度各自で確認してください。

## ◇ 機材等について

Q. Adobe Creative Cloud (Illustrator・Photoshop) はどのように使いますか？

イラストレーションコースでは、多くの科目において Adobe Creative Cloud (Illustrator・Photoshop) や CLIP STUDIO を利用して課題を提出いただきます。各授業

ではソフトの使い方を解説しながら授業が構成されています。また、Illustrator の活用方法を学び、作業の効率化を学ぶ「デジタル演習」という授業もございます。

Q. CLIP STUDIO PAINT EX 以外の代替のソフトウェア活用は可能でしょうか？

課題の提出等は、CLIP STUDIO PAINT EX と Adobe Creative Cloud (Illustrator ・ Photoshop) の使用を原則推奨としています。なお、Adobe Creative Cloud は学生料金が適用されます。

Q. CLIP STUDIO PAINT PRO でも可能でしょうか？

アニメーションの授業等で機能を活用しますので、CLIP STUDIO PRINT PRO ではなく、CLIP STUDIO PAINT EX をご購入ください。

Q. デジタル初心者なので、ペンタブレットと液晶タブレットどちらを買おうか迷っています。どちらが良いですか？

ご自身が使いやすい方をご利用ください（メーカー等の指定もございません）

Q. iPad を持ってもパソコンを用意する必要はありますか？

iPad 等のタブレットで学習・課題の提出等が可能であれば問題ありません。ただし、パソコンを併用されることを推奨いたします。

Q. 課題以外の添削はしてもらえますか？

添削は課題の添削のみとなります。その他、学習相談会など相談の機会をご活用ください。

※その他よくあるご質問は以下をご参照ください。

よくあるご質問（手のひら芸大・週末芸大）

<https://www.kyoto-art.ac.jp/t/contact/question/shumatsu/>

よくあるご質問 Q&A「入学のしかた編（手のひら芸大）」

<https://www.kyoto-art.ac.jp/t-blog/?p=90271>

よくあるご質問 Q&A「学費編（手のひら芸大）」

<https://www.kyoto-art.ac.jp/t-blog/?p=90273>